

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		ドリームズ・21st 鈴鹿桜島校		公表日		2026年2月13日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		7	1
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適性に合わせた人員配置ができています</li> <li>・状況に応じて配置を行い安全面に配慮している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギリギリ4：1が確保されている状態</li> <li>・送迎でスタッフが出ると配置に影響することがある</li> <li>・スタッフ数が少ないのでは？</li> </ul>	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子の生徒用、玄関チャイム使用可能</li> <li>・歩行不安定な生徒に靴を履く際の椅子を準備、玄関スロープやトイレ内手すり設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関チャイムが乾電池の為、電池切れ時は音が鳴らないこともある</li> </ul>	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清浄場所や種類に応じ分担当が決められていて行き届いていると思う</li> </ul>		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋数が多いため必要に応じて場所が準備できる</li> <li>・集中力持続、クールダウンが出来るようにパーソナルスペースを準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調を崩した子どもが身体を休める場所（コーナーや部屋）があった方が良いのでは</li> </ul>	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の朝礼や月に一度のミーティングを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクルに広くスタッフが参画しているかわからない</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを行うことによって改善案を募り話し合いを通じて改善に努めている</li> </ul>	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングでのスタッフ間の意見交換を行う</li> <li>・ミーティング事前アンケートで意見を募り改善を行う</li> </ul>	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートでの評価</li> <li>・相談支援事業所の相談員より助言を頂くこともあり</li> </ul>	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社外研修ではzoomでの参加あり</li> <li>・市で行われる研修参加や社内研修も実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の機会が少ない</li> <li>・パートは研修の機会が少ない</li> </ul>
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画作成時に児発管以外のスタッフの意見を入れたり全員で回覧する等、最善を尽くされている</li> </ul>	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも閲覧可能 新しい情報は回覧板で各スタッフに回される</li> <li>・意識づけの為Excel上での工夫を行う</li> </ul>	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達検査の結果共有や日々の観察や支援記録、日々の朝礼時での振り返り等で確認を行っている</li> </ul>	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・五領域を踏まえて支援内容を設定している 本人支援＝五領域を視点として家族等（移行・地域）は別枠で設定（運動あり）	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・朝礼やミーティング時にスタッフ間での意見交換を行い立案している ・社員を中心に行っている（パートスタッフへの共有も行っている）	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・気分転換も兼ねて違う活動を行う ・特性や状況に応じて個別活動と集団活動を適切に組み合わせている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・日々の状況や反応を踏まえ活動内容の工夫を行っている（レッスンや休み時間） ・主に早帰りや長期休みで行う	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・日々の朝礼での共有を密に行っている ・日々の確認事項を作成し全員が閲覧	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	・朝礼時行っている	・出来る時と出来ない時がある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・出来る限り当日中に記録を執ることを徹底し変更点等の改善に繋げている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・主に児発管よりスタッフへ聞き取りを行い見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		・レッスンの時間だけではなくイベントで様々な内容を取り組み療育に繋げている ・SSTを通しての組み合わせを行っている	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		・レッスンの選択やおやつ選択等々		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	・児発管がメインに参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・学校との連携や医師の意見書等の提示 ・送迎の際に学校の先生とのやり取りを行い支援の統一を行う	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・保護者様より共有はされているが不明な場合は学校への連絡を行い確認をしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・児童発達支援事業所よりの情報共有 ・保護者様より聞き取りを行う	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・相談員を交えた保護者懇談を行い情報の共有を行っている ・保護者や関係機関より求められた場合	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	・研修の案内や地域の事業所間で話し合う機会を設けてもらっている ・児童発達支援事業所との連携が取れている	・研修を受ける機会が少ない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・公園や児童館に行くことがあり、多くはないが一緒に過ごすことがある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	・案内があり児発管が参加している	・協議会の構成員なのかわからない
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・送迎時での対面での対話や連絡帳やLINEを通じて日々の連絡を行っている		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・ペアレント・トレーニングは市町の情報提供を行うことがある		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・見学や契約時に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・主に懇談時に支援計画書での意向確認を行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・懇談時に説明を行い同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・電話や対面時での相談が多く、その都度助言を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	・長期休みやキッズウィークでのイベント時に家族も参加が出来るようにしている	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・スタッフ間での確認、共有を行い迅速に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	5	・主にSNSを通じて活動予定の報告や連絡体制を整えている	・HPや通信等の発信が出来ていない ・LINEでの発信は多いがその他の情報発信は少ない
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・鍵付き書庫への保管	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・個々の特性に合った伝え方や保護者様にも解りやすく説明を行っている	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	・公園などの公設施設を活用し地域の中で活動する機会を設けている	・事業所内でのイベントが多く実施出来ない ・事業所内では行っているが地域住民を招待出来るイベントを行っていない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・年2回の避難訓練の実施とマニュアルは見えるところでの保管を行う	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・年2回の避難訓練を実施	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		・アセスメントでの聞き取り確認を実施	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・医師の診断書を保護者より提供して頂く	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	・安全計画を策定し、安全管理体制のもと日常の支援を行っている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	・契約時に説明を行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・日々の朝礼時での話し合いの中での対策案等を踏まえて検討をしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・権利擁護（虐待防止）研修への参加を行い資料をファイリングし全スタッフが閲覧できる様になっている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・契約時での説明を行っている（契約書への記載）		